

様式第1号（第5条関係）

会議概要

会議の名称	第6回久喜市生涯学習推進会議
開催年月日	平成30年3月20日（火）
開始・終了時刻	午後2時00分 から 午後3時29分 まで
開催場所	久喜市教育委員会 会議室
議長氏名	平 忠昭
出席委員（者）氏名	明石實正、飯島栄治、石川裕子、井上日出子、枝重雄、杉村榮一、平忠昭、田沼勝子、中里厚子、長島一枝、原嶋憲二、古谷郁男、宮内智、山谷博
欠席委員（者）氏名	榎本英明、帯津嘉二、金子雄司、金子益巳、杉田栄子、野澤昌弘
事務局職員職氏名	海老島正純生涯学習課長、布施生涯学習課長補佐、堤生涯学習係長、武藤主査
会議次第	1) 「生涯学習推進計画（まなびすとプラン）平成30年度～平成34年度」について 2) 第8回生涯学習推進大会「まなびすと久喜」について（報告）
配布資料	・久喜市生涯学習推進計画（まなびすとプラン）平成30年度～平成34年度] ・第8回生涯学習推進大会「まなびすと久喜」について（大会概要と反省）
会議の公開又は非公開	公 開
傍聴人数	0 人

様式第2号（第5条関係）

審議会等会議録

発言者	会議のてん末概要
司会 堤生涯学習係長	<p>それでは定刻となりましたので、進めさせていただきます。ただ今委員の出席13名いただいておりますことから、久喜市生涯学習推進会議条例第5条第2項に基づきまして委員の過半数以上の出席となりますので、当会議が成立することをご報告申し上げます。それでは、ただ今から第6回久喜市生涯学習推進会議を開催させていただきます。本日はご多用の中また、お足元の悪い中、ご出席をいただきまして有難うございます。本日の司会を務めます生涯学習課の堤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本日、榎本委員、帯津委員、金子益巳委員、金子雄司委員、杉田委員、野澤委員から欠席する旨の連絡をいただいております。なお、事前に今日の会議開催の案内通知、久喜市教育委員会会議室という表記で、結構戸惑われて問合せ等いただいております。こちらにお越しいただいている委員さんもいらっしゃいました。石川委員さんも会場を間違えてしまい、こちらに向かっている状況でございます。遅れて出席されますことを報告させていただきます。今回の表記につきまして、大変申し訳ございませんでした。どうぞよろしくお願いいたします。それでは次第に従いまして平議長よりごあいさつを申し上げます。</p>
平議長	<p><議長あいさつ></p>
司会 堤生涯学習係長	<p>有難うございました。続きまして、海老島生涯学習課長よりあいさつを申し上げます</p>
海老島生涯学習課長	<p><課長あいさつ></p>
司会 堤生涯学習係長	<p><配布資料の確認及び説明></p>
司会 堤生涯学習係長	<p>それでは、次第に従いまして議題の3に入りたいと思います。議事の進行につきましては、久喜市生涯学習推進会議条例第5条第1項に基づきまして、平議長をお願いいたします。よろしく願いいたします。</p>
平議長	<p>それでは議題の(1)生涯学習推進計画(まなびすとプラン)平成30年度～34年度について。前回12月12日に最終の案について、皆様のご意見をいただきまして、承認いただいた訳です。それに基づきまして、資料にありますけど、市長の方に、まなびすとプラン平成25年度以降の分について提言をさせていただいております。それではこれについて、事務局のほうから、説明をお願いいたします。</p>
布施生涯学習課長補佐	<p>今議長からお話がありましたように、こちら資料に付けさせていただきましたが、12月12日の会議を受け、市長あてにこのような提言を提出いたしました。生涯学習推進計画につきましては、ちょうど中間年である昨年から今年度にかけて見直しをし、その計画の見直しにあたり、久喜市生涯学習推進会議条例第2条に基づき、4点の提言をいたしました。1点目は、今後5年間を見通した計画とすること。2点目は、本計画の事業の現状を把握し、実施状況と今後の対応について評価見直しを行うこと。3点目が、平成31年4月に開館する生涯学習センターを拠点とした事業を本計画に位置づけること。4点目が、平成28年度より開始した、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)事業を本計画に</p>

	<p>位置づけることということで、提言をいただきましたので、こちらのほうを受けて今回の計画のほうを更に精査し、冊子の方にまとめさせていただきます。計画の概要につきましては、位置づけとしては、久喜市総合振興計画に基づく個別計画としての久喜市教育振興基本計画等の施策に留意し、これらの計画に含まれる生涯学習的領域と連携しております。期間は平成25年（2013年度）から平成34年（2022年度）までですが、その中間年の平成30年度からの計画となります。基本目標は、これまでの継続となりますが、～市民がつくるまなびのまちづくり～「まなぶ」と「いかす」を「つなぐ」・「ささえあう」ことで豊かな人づくり、まちづくりを目指すという目標を掲げております。基本方針といたしましては、こちら継続となりますが、みずからの意思による生涯学習（自主）、協働による生涯学習（協働）、まちづくりにつながる生涯学習（創造）という3点を基本方針としております。そして施策の柱としてはこちら継続となりますが、4点、まなぶ いかす つなぐ ささえあうということを基本的な柱として、施策の方、今回も見直しを図りました。改訂内容としては資料の方に付けさせていただきましたが、3枚目以降になりますが、新旧対応表でご確認いただければと思います。大きく変わった点ですが、まず1点目、計画の位置づけでございます。こちらの計画ですと、4ページになります。これまで文字で表していたものを図式化し、よりわかりやすく表してみました。これにより久喜市総合振興計画、久喜市教育振興基本計画を受けて久喜市生涯学習推進計画（まなびすとプラン）があるというようなものになっています。2つ目でございます。第5章18ページ以降になりますが、施策の展開のなかで、次の計画を加筆しております。1つ目が生涯学習センターの整備に伴うものがございます。2つ目が青少年教育に関する事項でございます。3つ目が生涯学習活動団体の支援に関する事項です。それから中学生学力アップに関する事項、こども図書館の整備に伴う事項、久喜マラソン大会に関する事項、コミュニティ・スクールに関する事項、放課後子ども総合プランに関する事項ということで、大きく8点を付け加えさせていただきました。その中の施策の展開の方は実施状況と今後の対応等、方向性を明確にしました。また最後になりますが、資料に平成28年度の生涯学習推進アンケート、4地区の市民まつり等で行われたアンケート結果を掲載したものです。大きなところでは以上でございます。</p>
<p>平議長</p>	<p>今の説明の中でわからないことなどございませんか。これは既に市長に決裁もらっているものなので、これについてどうのこうののではなくて、進めていくことで前向きなお話をしていければいいと思います。何かございますか。せっかく長時間かけてその都度皆さんで審議いただき、議論しながら進めてきたものですので、これを4月以降しっかりといかしていくというのが、今後の仕事だと思いますので、そんな観点からご意見等ございませんか。</p>
<p>古谷委員</p>	<p>生涯学習センターが31年4月にできるということですが、資料の18ページ2番、生涯学習センター自主事業の充実ということで、市民のニーズを反映した生涯学習センター自主事業の提供と書いてありますが、これは生涯学習センターができるまでには考えておくということですか。それとも事業、こういうことをやるというのが、ある程度プランにあるのかどうか、聞かせていただければと思います。</p>

海老島生涯学習課長	<p>今現在では自主事業で、こういうものをやろうとか、31年4月からのスタートに合わせて、自主事業できるものは今のところ考えてないところですけども、今回、生涯学習センターにつきましては他の公民館にはない、音楽スタジオ、ダンススタジオも用意してございます。それとは別に人材バンクもあり、講師ができるような方もいらっしゃいますので、そういうものと施設、講師等みながら、計画していきたいと思いますが、4月のスタートの時点で講座の計画はないところでございます。</p>
古谷委員	<p>そうですか。わかりました。</p>
平議長	<p>我々、前橋に2回研修に行きましたよね。そこで、課長からの説明にあったように、市民の方々が自主的にサークル活動をやっているけど、もし、市民の方が使えるようなのがあれば積極的に登録等してもらおうというようなことになるのではないかと思います。</p>
布施生涯学習課長補佐	<p>今課長からありましたけど、一応予定として、市民大学、高齢者大学は中央公民館からセンターに場所を移転しての授業になるかと考えています。また、生涯学習センター、今、120人規模利用できる階段教室、音楽の練習が出来るスタジオ、ダンススタジオが今予定されています。私達としては、こんなふうにしたら使えるだろうな、こんなことが出来るだろうなということを考えているところではあります。ただ、人的にどういうふうになるかということもわからないところであります。ただ1階は誰でも使える、広いラウンジというのを考えておりますので、今後の生涯学習推進会議の委員さんや推進部委員さんと連携を図りながら、市民のニーズにあった事業ということを計画していきたいと思っております。</p>
杉村委員	<p>これは考え方として中期計画ですよ。新規のところは年度計画に落として、施策を具体化するという位置づけでよろしいですかね。</p>
布施生涯学習課長補佐	<p>はい。</p>
平議長	<p>まずは市民の皆様の中に生涯学習のガイドというか、どこに相談したらいいのか判らないとの声が結構ありましたよね。そういう場ができてそこに配置される方は別として、そこで、こういうことが出来ますよ、こういうことをやりたいのは、この団体がやりますよと紹介できる。ガイドができるというのが、まずできて、そこに聞けば生涯学習、自分のやりたいことが大体わかるんだなという所が出来て、そこで、案内しながら市民の皆さんが生涯学習に興味を持ってやってもらうということで、しばらくは試行錯誤があらうかと思いますが、今、市民大学も高齢者大学も応募される方が少ないので、そういう方が多くなるようなことを重点的にやっていくということを考えていかなければならないのかな。いづれにしても使用する我々がそういう働き、動きといいますか、自分達も行動する必要があるのではないかと思います。</p>
原嶋委員	<p>来年31年度開館の流れになっていると思うんですけど、予算措置を算出するとすれば9月前にはどんな計画でこんなことをやるというのが出来ていないとおかしいですよ。そのスケジュールからいうといつ頃そういうような施設の利用ができ、どんな事業をやるのかとか、スケジュールはできてくるんですか。</p>

海老島生涯学習課長	<p>事業的な目的で予算は組んでいなくて、設備的なものが3月議会で通ったものでして、大きなものと、備品関係で、音楽室のアンプやドラム関係、電子ピアノとか、展示で使うパネルとか、そんなものを主に予算計上しております。来年3月に向けて一般の方も使えるようなコピー機とか印刷機とかの借り入れ等を予定しています。予算的なものは備品類がほとんどです。あとは、施設に関して、使用条例とかを9月議会に出していく予定です。そんな状況です。議会が通れば貸館をします。その辺で市民の方に周知等していく予定です。</p>
原嶋委員	<p>施設の運営をするための運営協議会とか審議会とか、そういうものの設置は考えているんですか。</p>
海老島生涯学習課長	<p>運営の協議会に関しては、今のところ予定はないです。生涯学習推進会議でもご意見いただければと思っております。</p>
杉村委員	<p>先程の続きですが、これは中期計画だから、生涯学習課を中心として、こういう場を通じて具体化していくという進め方で考え方はよろしいでしょうか。</p>
海老島生涯学習課長	<p>職務として、皆さんに情報提供させていただきますので、提言していただくような形でご意見いただければと思います。</p>
杉村委員	<p>新規事業が結構あるから、うまく利用するために、かなり要しなくてはならないということですね。</p>
平議長	<p>ここの来年度以降ですが、31年度以降生涯学習センターをどうやって使うかということが今後推進計画に基づいてやっていく訳ですが、今までなかったものを、これからやっていく訳で、これに沿ったものをどうやって使っていくか、皆さんで考えながらやっていくことが大切だと思いますので、皆さんから、こういうことが検討できないかということがありましたら、事務局に事前に言っていただいて、その主旨は会議の席上で検討していくことも大事なことだと思います。ただ1年間、終わりました。じゃあ31年度何をやりますか、それからスタートではなくて、この1年間をスタートの準備期間として、どんなことをやっていくかということを決めていく。簡単に例を言えば、今まで、まなびすと久喜は、会場をぐるぐる回ってやってきましたけど、今度施設ができるんだから、ここであれをやる、これをやるというような案があれば検討して、できそうなら実際にやってみるといったことだと思いますので、それができるか、できないかは、やってみてチェックしていかなければならないので、そういうことを1年間でやっていただく。ただ、あまり年度末になってからは大変なので、なるべく早い時期に提案という形であればどんどん出してもらい、皆で検討していくことが大事なことだと思いますので、是非委員の皆さんの今後の課題として考えていくようお願いしたいと思います。</p>
山谷委員	<p>久喜市の場合、次年度の予算要求のまとめをして、財政当局に要求するのはいつ頃ですか。</p>
堤生涯学習課係長	<p>大体、財政から照会がかかるのが9月当初になりまして、そのときに、ある程度の市の方針的なものが併せて出ます。その中で10月中旬にかけて各関係課で予算の積算等をして、11月期間中に財政課とヒアリングということで、予算が必ずしも要求したものが通るという状況では</p>

	<p>ないということです。その辺は、いろいろ皆さんから情報の提供をいただいて、どうしても必要な部分はヒアリングを通して訴えて予算の獲得という形の手はずとなります。基本的には9月、10月の2ヵ月間が中心となります。</p>
山谷委員	<p>そうすると、その時期に併せて31年度の事業実施計画、たたき台を作らないと、予算要求できないですね。</p>
平議長	<p>今、山谷さんが言ったように、新たに何をやるかといった場合は、今年の夏頃、いろんな話をしながら、金のかかりそうなものは予算要求してもらおうという話はしていかなければ駄目でしょうね。突拍子もなく金のかかるものは難しいと思いますが、金のかかるものがあった場合は、たとえば、まなびすと久喜、今年は55万円でしたが、今度は生涯学習センターでやろうとすると、再来年ですかね。時期は変わらないとして、ここでやるとなると、仮にざっと70~80万かかるとなった場合、早めに話し合いながら内容を考え、推進会議で大体決めて、推進部で検討してもらおう。だけど、今は推進部が先行していて推進会議が追認みたいになっている。そうではなくて、推進会議はこんなことをやるから頼みますと推進部にお願いする形でないとまずいので、ここで新しい形のまなびすと久喜でこうしたいと、時期もお金も含めて決めていかないと、推進部におまかせ、推進会議はなくてもいいという事になりますので。</p>
杉村委員	<p>継続事業だったら推進部は先行してやりますね。でも、ここに載っているのは新規事業ですから、ここで基本的なプランを、多分あるねらいをもって、施設は準備していると思うんですね。そのねらいを実現するために、どう運営するのか、そこをつめていかななくては、その運営の仕方によって、あまりお金がかかる場合、かからない場合がある。だから早くそれを作らなくてはならないんですね。</p>
平議長	<p>今までは皆さん認識していると思うのですが、逆転しているんですよ。要は、皆さんにお願いしているのは、推進会議が主催ですよということをお話したと思うのですが、推進会議が決定して推進部の皆さんが、これでやっていただけますかという形を早くしていくためにも必要なことだと思いますので、その助走期間としてちょうど今年1年間がいいと思いますので、考えていついていただきたいと思います。</p>
杉村委員	<p>この際、会議の進め方でいいのかどうかですね。</p>
飯島委員	<p>来年度生涯学習センターが開設されるということで、今までの各公民館で利用していた団体も、こちらに移ってくるということを生涯学習課として考えて、そういう団体に対して、こちらにこんな設備ができます。受け入れができますということで、そんな計画も考えていくのでしょうか。</p>
平議長	<p>どうしても公民館活動の方でやっていたほうがいいものについては、引き続きそのままでもいいと思うし、生涯学習の一環としてそういう施設があるなら移ったほうがいいというものについては、新しいところでやってもいいし、まず、主体性というか、やっている人達がどちらを希望するのか、無理に言う必要はないと思います。</p>

布施生涯学習課長補佐	生涯学習センターの設計をするにあたり、公民館とあまりかぶらないように、使い勝手がいいようにしたらどうだろうかということで、部屋の配置を考えました。例えば、生涯学習センターにも調理ができるような場所があったらいいなと私達も思っていたんですが、公民館の様子を見ると、そういう部屋はいずれの所にもあり、そこを使われている団体がある。その人達が生涯学習センターにということではなくて、今やっている方は今やっている所で活動していただいているのかなと。それ以外に新たにやりたいという人達とか、また生涯学習センターのほうで、どうしてもという人達が集まってきて活動ができるというような、新たな生涯学習に進んでいく人達を集めるという施設となるように計画しているところです。
明石委員	31年4月に新しい生涯学習センターができるんですが、教育委員会あるいは生涯学習課として、開所するためのセレモニーとかイベントは考えていますか。ただ、時間が過ぎていつの間にか動いていたというようにするのか、これからのことを考えてこうしましょうというようなことを、発表するようなことを考えているんですか。
布施生涯学習課長補佐	今のところ大々的に4月のオープンに向けて何かというところは考えていないところですが必要なことかも知れないですね。それと31年度が合併して10年を迎えるということで、まなびすと久喜、まなびすとフォーラムがちょうど10回大会が31年度になるのかなと考えております。そうすると31年度の記念大会を生涯学習センターを使って行うというのは、ひとつ事業として含められるのかな。ただ、全体のみらい創造プレイスとしては32年度のオープンになりますので、さきかけのオープンになりますから全体的にはまだ工事をしている場所ですので、どの程度できるか、まだ未確定なところはあるんですが、一応構想としてはそのようなことを考えております。
原嶋委員	随分前ですが、旧久喜市が合併して10年のときに、冠をつけて大会をやりました。多分、そんな流れはあるんじゃないかと思います。
平議長	すべてできたときにやるのか、今のお話のとおり10年目、ちょうど31年にやるのか、話し合う必要があります。
山谷委員	この生涯学習センターは自治法でいう公の施設なんですか。
布施生涯学習課長補佐	そうですね。
平議長	いまのようなことを参考にしながら、31年度新たにオープニングセレモニー等どうしようかということ、早めに結論出さなくてはならないですね。
杉村委員	要は、継続事業はやるというつもりでいる訳ですよ。そのオープニングに含めて、また事業をやるということになると、その中のすみわけ等必要になる訳ですよ。既存事業と新規事業の関係、それから公民館施設とセンター施設のすみわけをどうするのか。やる人達の希望でやるんじゃないかと思います。多分、公民館機能はこういうことで、センター機能はこうだと、大きなデザインがあるのではないかと。それに基づいて振り分けていかなくてはならないかと思っています。

平議長	必要であれば推進会議でそのような意見が出てるとすると、この委員の中の何人かで検討するメンバーが集まって、原案を作ってもらってやるということも考えられると思います。幸い、推進部と兼ねている方も多いので、そういうことも検討すること可能だと思いますので、頭に入れておいていただき、早い時期にやるんだったら実施していけばいいのかなと思います。
山谷委員	公の施設条例はいつ頃出すんですか。
海老島生涯学習課長	施設条例は9月の議会に出す予定です。有料の部屋とか時間の貸し出し方法等を含めた形にする予定です。
飯島委員	そうすると我々の任期は8月31日ですよ。来年度に向かっていくためには、ある程度の人が残って、推進していかないと今の色々な計画とか予定とか進んでいかないとと思うので。その辺はある程度意思をはっきりして、それぞれの委員さんが残れるような形をとっていただかないと、相当数入れ替わると、推進していくのも難しいかなと思うんですが。
堤生涯学習係長	先程8月31日で任期満了となるということで、今20名の枠の中で、一般公募で6名、社会教育委員、生涯学習推進部の方から5名ずつ。実際にはそこで16名の枠が決ってしまうという状況です。先程の有識者というか、社会教育委員、生涯学習推進部の方が継続はもちろん、意思があれば、そのまま継続してとかは、それぞれの会議等でお伝えできるかなと思います。そういう意識とか知識を持っている方が継続される部分はあるのかなと思います。一般公募の方は初めての方が多いため、それ以外の選出区分からということになりますので、広報5月1日号で、5月1日から5月21日までの約3週間の期間で一般公募で周知させていただきますので、そちらの方で引き続きという方で一般公募であげていただければ、知識と経験をもって、あがっていただけるのが、うれしい状況かなと思います。この冊子の65ページに推進会議の進捗管理という形で推進会議の皆様にも今後評価していただく、見ていただくという形もございますし、67ページ、推進会議条例の中に所掌事務で生涯学習の推進のために提言に関するということと定めておられますので、そのような観点から今持っている知識と経験と、来年度の会議は2回予定していますが、その2回は審議する内容で開くもの、それ以外は自主研修ということで実施して、この提言に関しての勉強会を開いているところもございます。予算の範囲内では2回ですか、それ以外にも提言する上での協議等で開いていただいてもいいかなと考えてございます。その辺は、また新しいメンバーでいろいろ協議していく中で提案等していただきながら31年度4月から予定しております生涯学習センターの運営に関してご意見等いただければと考えております。
古谷委員	今の件に関して質問ですが、推進会議の回数ですが、去年は3回でしたか、来年度の予算では2回ということで、去年の会議の日程を見ますと、第3回が5月、4回が8月にやっている。この5月か8月には開いていただければ、今のメンバーで会議ができるかなと思いますが。

堤生涯学習係長	<p>来年度の予算の積算ですが、今年度についてはこの生涯学習推進計画の策定見直しという事業がありましたので、回数をより多くということで予算要求し、それを見ていただいた。実際のところ、20名定数の中で大体12、3人の出席なので、実際のところ、予算上は3回しかとってなかったけれど、出席されなかった委員の報償費の積み上げで、結果として4回できたという状況でした。来年度も任期満了ということで3回予定したいところでしたが、結果として2回しかとれなかった現状です。この2回ですが、年度が切り替わって任期満了に伴った第1回めは9月以降になってしまい、年度後半に2回目という形となりますと予算積算上はもう1回というのはとれていない状況です。事務局としては予算がない以上召集をかけて実施というのは難しい状況でございますので、来年度については、予算は2回分しか取れてないという現状は、大変申し訳ありませんが、そんな状況です。</p>
杉村委員	<p>予算がない事情はわかったんですが、事業としては、この見直しをするんで、今年度少しやったほうがいいですよ。来年度はこれの新規事業の具体化をしなければならない。</p>
平議長	<p>今、古谷さんから予算措置に伴う会議はそれでいいんですか。このプランを作ってもらうために、検討部会の委員に何回かやってもらっているわけです。ですから、本当にやる我々の意思次第で、やる気があれば予算の伴わない自主的な会議をやればいいんですよ。そのための委員だと私は思いますので。やり方は色々ありますので、やっていくかやっていくかないか推進会議で進めていくかいかないかだけのことだと思いますので、回数にこだわる必要はないと思います。</p>
杉村委員	<p>1回か2回は会議予定なんですよ。活動予定は別にやるものだと思う。</p>
平議長	<p>それに基づいて、皆さんがそれでよければ、31年度を見据えて、これから1年間はそういう活動もありえますよということで、よろしいでしょうか。</p>
杉村委員	<p>事業を具体化するんだから今までの活動の仕方を変えなくちゃならないですね。それをどう変えるかを、きちんとすればいい。</p>
平議長	<p>皆さん、まず前提にそれで了解されてよろしいですね。</p>
	<p><一同拍手></p>
古谷委員	<p>それに賛成した上での話ですが、8月までに第1回の会議を持つのは難しいとおっしゃられたんですが、9月に予算を上げるという話なので、やはりその前に自主研修でなく、会議として、開く必要があると思うんです。</p>
平議長	<p>ですから自主的に我々のほうで5月にやろうと決めてやっていけばいい訳ですよ。8月にこだわらずに。要はやるかやらないかの話ですから。</p>
枝委員	<p>31年度4月にオープンすると、もう目の前に迫ってますよね。その中で課長から設備やら備品の話がありましたが、具体的に何を、いろんな考えがあるんでしょうけど、今の段階で固めてやらないとならないと思</p>

	<p>います。それに対応するためにも早めに自主的にやって市民に応えるために、しっかりとしたものを固めていったほうがいいと思います。</p>
平議長	<p>では早い時期に一度皆さんにお声がけて、どういうことをやっていくか方向を絞り込んでスケジュールを決めて、いつまでに、これについては決定しておかないとならないというような作業をしたいと思いますが、ご協力をお願いします。今日はこんなことをしたいということで、閉めさせていただきたいと思います。</p>
杉村委員	<p>いろんな考えで施設見学等組んでいると思います。我々まだ良く理解していないんですよ。だから、まず、区切りのいいところで説明していただいて、そこから出発の方がいいと思います。</p>
古谷委員	<p>自主研修を最初にやっても主旨がよくわからないから、やるんだったら生涯学習課から大きな主旨を説明してもらってから、やったほうがいいと思う。</p>
飯島委員	<p>生涯学習課が31年度以降計画している腹案や思案をたたき台として、皆さんで検討していくほうが、ある程度具体性が出てきますよね。今現在、備品とかは別として、どういう活動、運営をするかということ、ある程度計画されてると推測するんですが、そういうことを我々に示していただき、その中で、どの部分から進めていこうかとしたほうが、具体性があると思うのですが。</p>
平議長	<p>基本的にはこれに載っているんですよ。実施中とある所を見てもらえばわかると思います。例えば18ページ施策の展開等になると、生涯学習が所管するもの、所管部所が違うところがありますよね。それは我々が直接なんだかんだ言うことはできませんが、所管するものについては、議論するところですけど、それを担当者や関係課でやろうとしている訳ですよ。だからやろうとすることは、この中に入っている感じがします。</p>
古谷委員	<p>そこは充分理解していると思います。それをもっと具体化したものを出してもらってから話をしたほうがいいんじゃないかというのが飯島委員の発言だと思います。</p>
平議長	<p>では、今の話をまとめて、次回の時、なるべく早い時期に集まっただき、会議するというにしたいと思います。(1)については、こんなところでよろしいでしょうか。</p>
堤生涯学習係長	<p>では確認ですが、先程の任期中の5月とか6月とか、推進会議の議長と日程を調整して、こちらで通知するというところでよろしいでしょうか。</p>
平議長	<p>はい、お願いします。では(2)生涯学習推進大会「まなびすと久喜」、これは既に終わっているところですが、これについての報告を宮内委員からお願いします。</p>

宮内委員	<p>今回の報告については実行委員長から市の方に報告と会計報告について済まされていますが、お手元にあります大会の反省ですが、大会の主旨、例年通り行われているものでございまして、今回は栗橋で4地区を回っており、最後の場ということで、進めさせていただきました。内容については皆さんもご覧になっていただいているところですが、反省につきましては、実行委員長の報告が裏面にございますけど、それにつきまして私の方から発表させていただきたいと思います。今、申し上げましたように、2月3日、4日ということで4地区実施の最後の栗橋文化会館イリスで開催されました。推進会議の皆様にも実行委員、当日ボランティアとして、ご協力いただきましたこと、お礼申し上げます。また、校友会のOBの方等お手伝いいただき感謝申し上げます。1日目は開会式と基調講演、パネルディスカッションを行いまして、柿沼教育長に「紡（つむ）ぐ絆 ～過去・現在・未来～」というテーマで講演いただきました。予測困難な社会、ロボット、人工頭脳、教育基本法の改正、コミュニティ・スクール等、いろいろ有意義なお話をいただきました。また、パネルディスカッションにつきましては、北彩高校生、パラリンピックの候補者、PTA 連合会会長、市民大学校友会会長と4名にお願いしまして、同じ統一したテーマで意見発表をお願いしました。特に障害をお持ちの酒井さん、2020年パラリンピック参加を目標に、走り幅跳びで目標に向かって皆さんからの応援をいただきました。2日目のイベントと発表会ですけど、初めての会場で部屋数も少なく、各イベントの実施に苦労しましたが、館長さんはじめ職員の協力を頂きまして感謝申し上げます。また、地元の方の協力も色々頂きました。栗橋の会場はB&Gの体育館とイリスという離れた所だったので、少し心配しましたが、天気にも恵まれ、会場として3200名くらいの来場者があり、盛会に事故なく終了したと思っております。屋外の焼きそばやそば、喫茶のコーヒー、パン等予定通り完売できたということです。発表会、イベントにつきましても、今回高校生44名というボランティアの参加を頂き、各部所で大いに活躍していただきましたこと、大変有難く思っています。今後の開催についても、高校生の参加を期待したいと思います。また、問題点としては、推進部委員に市民大学生も人数が少なく、実行委員会の不参加の方が見られ、会議運営に支障をきたすことがあったことが心配なことでございます。チラシ、ポスター、資材の準備等で支障も見られました。最後に今回のまなびすと久喜の開催につきましても30年度は中央公民館ということで来年の2月予定でやっていきます。31年4月の生涯学習センター開設以降、場所の選定を始めとした実施内容については、推進会議の委員と推進部で検討し、皆さんの意見を頂いてやっていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。</p>
平議長	<p>ありがとうございました。</p>
杉村委員	<p>来年度2月にやるわけですね。4月に開館するわけですよ。オープニング事業をどうやるかによって、いろいろと関係する問題が違ってくると思います。センターは4月、オープニング事業をやるとなると、一緒に準備しなくてはならない。きちんと議論して方向づけしたほうが良いと思います。</p>

平議長	<p>今回推進会議のメンバーの方々もだいぶ協力していただきました。ありがとうございました。さらに何回も言いますが、推進会議の主催事業ですので、そのところ、委員の皆さん、十分に自覚していただき、今後も進めていただくように、ご協力をお願いしたいと思います。特に今回のパネルディスカッションで宮内委員のお話がありましたように、酒井さんに参加していただき非常に好評でした。冬のパラリンピックが終わったばかりで良かったかなと思っています。2020年で彼女が日本代表で出場してくれたら、市民として皆で応援していきたいと思っています。それから31年度4月のオープニングセレモニーと一緒にやったほうが、ひとつで大きな力となってくると思います。</p>
原嶋委員	<p>今後の予定について、フォーラム、大会の会場等、どんな考えがあるか。</p>
宮内委員	<p>推進部のほうは、堤係長から話があったように、今年度は6月9日にフォーラムが北陽高校の学生食堂でやるということで進めています。テーマについては、明後日に役員会がありますので、最終決定して皆さんの方へチラシ、ポスターを持ってご案内を差し上げたいと思います。学校関係、PTA関係、ゆうゆう関係等、いろいろやっていただいたんですが、今回はまた特に、コミュニティを推進している委員さんにも参加していただきたいと考えています。まなびすと久喜については、今の計画としては、中央公民館と各地区を1年ごとにやってきており、栗橋が4地区の最後でしたので、来年の2月は中央公民館でやりまして、31年度については4月にセンターができますので、まなびすと久喜はいつも2月にやっているんですが、天候に心配しながらやっているのが現状なんです。なぜ2月という話が聞かれますが、これは中央公民館の会場の関係等です。では、6月のフォーラムと切り替えればという話もありますが、市民まつりが10月にあり、いろいろ考えてはいるのですが、せっかくセンターができるんですが、発表会の場というか、舞台設備がないんです。前、フォーラムで使った食堂も違うものになってしまうということで、発表会は市民まつりのように外の広場にトラックを借りてという案もありますが、予算の面もあります。フォーラムとまなびすと久喜について30年度については計画しており、31年度については未定という形です。</p>
平議長	<p>よろしいでしょうか。</p>
原嶋委員	<p>今年栗橋でしたよね。各地区をまわっていく成果があったという印象を受けました。</p>
宮内委員	<p>各学校関係というか、菖蒲の時も中学生が手伝ってくれたし、今回は栗橋で高校生が多数手伝ってくれました。高校生が多く参加していただき、我々推進部は人数が少ないのでとても有難かったです。</p>
杉村委員	<p>今回は施設の関係で運搬が多かったんですよ。</p>
平議長	<p>今、原嶋委員の方からありましたように、鷺宮、菖蒲、栗橋と全地域回りました。一番心配したのは、その地域の人達が本当に来てくれるのかなということだったのですが、鷺宮はじめ、3地区とも、心配が杞憂に終わったような形で、多くの人達が来てくれて安心しました。今回も栗橋イリスでやったのですが、フォーラム400席以上の席がありました。中央公民館は50人くらいでいっぱいになってしまうわけですよ。</p>

	<p>ね。50人くらいだと本当にフォーラムにならないと思っていたのですが、150人くらいの方々が来てくれて、席は空いてましたが、いいディスカッションができたと思っています。皆様のご協力に感謝したいと思います。ありがとうございました。では引き続き、宮内委員長の話にありました「まなびすとフォーラム」が6月9日に行われるのですが、少し説明していただけますか。</p>
宮内委員	<p>先程ちょっとお話したように、6月9日久喜北陽高校の学生食堂ということで、約20グループくらい作ってやろうと思っています。特に発表ですが、全部のグループが発表という話があるのですが、時間の関係で、企画の部長から1グループ3分くらいで全部やったらどうかという提案もあり、その辺を役員会で検討させていただきますが、皆さん参加いただきまして、特にこのフォーラムは20グループ作らなくてはならないので、推進部22名しかいないので、推進会議の皆様にもご協力いただきたいと思います。学校関係の教育関係者、保護者の方、コミュニティ活動されている方に参加していただいてフォーラムを盛り上げたいと思います。テーマについては検討中ですので、決まり次第皆様にお話したいと思います。</p>
平議長	<p>ありがとうございます。これもしつこいようですが、推進会議の主催ですので、是非お願いいたします。議題についてはこれで終わりになります。</p>
原嶋副議長	<p><閉会の言葉></p>
<p>会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためここに署名する。</p> <p>平成30年4月13日</p> <p style="text-align: center;">議 長 平 忠 昭</p>	